

JFA U-12サッカーリーグ2020熊本 実施要項

- ★登録全選手に試合出場機会を保証すること。
主旨 ★指導者が試合の結果にこだわることなく、選手育成のためにさまざまなチャレンジができること。
この2点に重点を置いたリーグ戦を実施する。

1 リーグ名称 “JFA U-12サッカーリーグ2020熊本” 市区郡町村/××ブロック

2 主催 財団法人日本サッカー協会、社団法人熊本県サッカー協会

3 主管 実施市区郡町村サッカー協会
※各リーグ毎に、参加全チームによる実施委員会を季節リーグ実施前に組織し、共同運営を行う。
※各地区リーグ実施責任者は、各季節リーグ実施前の実施委員会で組合せ、日程、会場、等を確認する。

4 特別協賛

5 協賛

6 エリアスポンサー (注1) 下記をご参照ください。※エリアスポンサーは県・地域規模を想定
注1・市区町村F.A独自の事業「協賛」について

下記の商品又は業種(カテゴリー)と競合しない企業/団体に関しては、各都道府県、市区町村F.A独自の事業「協賛」を獲得することが可能です。
既存の協賛団体がある場合は事前にJFAまでお問合わせ下さい。

- スポンサー獲得対象外商品(カテゴリー)
 - (1) 飲料
 - (2) 健康食品(栄養補助食品等含む)
- スポンサー獲得自粛業種(カテゴリー)
 - (1) アルコール
 - (2)

7 後援

・大会実施にあたり、地元自治体・地元教育委員会等の協力(会場使用料の減免、大会告知等)を頂ける場合や地元新聞社及び地元放送局については、それらの組織・団体を「後援」として頂いて結構です。

8 参加資格

- ・日本サッカー協会第4種に登録されたチームであり、同じく個人登録をしている者。(要選手証)
- ・選手は傷害保険(スポーツ安全傷害保険など)に加入し、保護者の承諾を得た者。

9 チームの編成と条件

- ・U10、U11、U12全て8人制で実施。原則1チーム30名以内。
- ・控え選手を少なくするために、試合実施人数にあわせて1登録チームを分割(複数)エントリー可。
- ・チームは、原則として1名以上の指導者と1名の有資格(4級以上)の帯同審判員をつけること。

10 実施前提方針

- ・**関わる方の健康・安全を最優先することを前提に、政府・行政及び学校自粛方針を尊重し、くれぐれも無理はしないこと。**
- ・**日本サッカー協会の「ガイドライン」に沿って実施すること。**

10 リーグ戦実施形態

- ・原則として熊本県内16地区程度の生活圏内でリーグを組織し、U-10~12を継続実施する。(但し、地域の実情に応じて柔軟に対応可)
- ・県内5支部毎に、原則として5チームずつの生活圏内リーグを登録チーム数に合わせて編成する。
- ・複数エントリーを推奨し、各生活圏内リーグの参加チーム数ができるだけ5の倍数になるようにする。
(リーグ戦の複数エントリーのチーム内での編成は、ステージ毎にチーム内で入れ替え可能)
- ・年度途中からの新規チームの参入は原則として認めない。
(各生活圏内リーグで参加チーム数の調整が可能な場合は認めることもある。)
- ・原則として5チームリーグとして、**7月~10月までにできる範囲で実施する。**
(新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、できる範囲で実施する。試合数等は各地区等で判断する)
- ・原則は、5チームリーグとしているが、実施形態は各地区で判断して差し支えない。
- ・年度当初のスタート時のリーグ編成は、前年度の結果及び各種大会等の結果を反映させて、各生活圏内リーグで決定する。

11 競技規則

・日本サッカー協会現行競技規則によるが、細則については、本大会実施委員会で決定する。

①競技場 60m~68m×40m~50m

②選手の交代

- ・選手の交代は、登録された交代要員とし、自由な交代とする。
- ・交代カードは必要なし。参加選手全員に出場機会を保証するように努めること。

③試合形式と時間 ※下記16.の具体的な実施形態を参照。

④順位の決定

- ・ディビジョンリーグ戦の順位は、勝ち点制とする。(勝ち-3点 引き分け-1点 負け-0点)
- ・勝ち点が高い場合は、次の順序で上位を決定する。(当該チームの戦績、得失点差、総得点、抽選)

⑤試合球

- ・4号検定球を使用する。(持ち寄り)

⑥ユニフォーム・シューズ(ユニフォームは、コイントスで決める)

- ・原則として正副2組のユニフォームを準備しておく。但し、やむを得ない場合はビブスのみでも可。(JFAユニフォーム規定は適用されない。)
- ・シューズの金属・交換式ポイント等危険と思われる物は、禁止する。すねあては、必ず着用すること。

⑦棄権等について

- ・定められた時間より5分経過してもゲームができない場合は、その試合を棄権とみなす。
- ・対戦相手が棄権の場合は3-0の勝ち(勝ち点3点)、また双方棄権の場合は0-0の引き分け(但し、勝ち点も0点)となる。

⑧選手の警告・退場

- ・選手の警告・退場等については、審判部申し合わせ事項による。特別な場合は規律委員会で検討する。

12 審判

- ・1人審判制。審判は全試合、各チーム帯同審判(4級以上)で行う。審判割当ては、各リーグ毎に定める。
- ・審判員は、審判証(写真貼付)を持参し、本部に提出すること
- ・審判員は、審判服用及び審判用ビブス着用で、審判を行う。

13 表彰 各地区リーグ毎に定める。→2020年度は、対象外

14 その他

- ・事故や傷害については、当該チーム加入保険で処理すること。
- ・大会参加費は、各リーグ毎に定める。(各リーグ内で収支報告を行う。)
- ・各リーグ実施委員長は、季節毎のリーグの結果をとりまとめ、下記大会事務局(県協会)へ提出すること。
*リーグの写真も提出すること。

15 大会事務局(県協会)

(一社)熊本県サッカー協会 4種委員 リーグ担当 中山 嘉史
Eメール nakayamafc342@nhcc.co.jp
携帯 090-6632-2279

16 具体的な実施形態(実施時期、会場数、試合順、時間など)※別シート参照

J F A U - 1 2 サッカーリーグ2020熊本 実施について

【熊本県の実施基本形態】

- ・ 県内5支部毎に、原則として5チームずつの生活圏内リーグを登録チーム数に合わせて編成する。
 - ・ 複数エントリーを推奨し、各生活圏内リーグの参加チーム数が5の倍数になるようにする。
 - ・ 年度途中からの新規チームの参入は原則として認めない。
(各生活圏内リーグで参加チーム数の調整が可能な場合は認めることもある。)
 - ・ 原則として5チームリーグとして、**7月～10月までにできる範囲で実施する。**
(新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、できる範囲で実施する。)
(試合数等は各地区等で判断する。)
 - ・ 年度当初のスタート時のリーグ編成は、各生活圏内リーグで決定する。
 - ・ 8人制で実施。(JFA 8人制競技規則による。)
 - ・ 試合時間は、15分-5分-15分
 - ・ 1人審判制。(各チーム帯同審判による。)
- * 審判は、一人制で対戦チーム相互(前後半で交代)で担当する。

【実施例】

	A	B	C	D	E
A		①	⑥	⑨	③
B	①		④	⑦	⑩
C	⑥	④		②	⑧
D	⑨	⑦	②		⑤
E	③	⑩	⑧	⑤	

※県内5支部及び各地区、合同地区内で、生活圏内リーグを編成する。

※生活圏内リーグ=5チームリーグ×数リーグ →チーム数に応じて5の倍数で編成する。

※原則は、5チームリーグとしているが、実施形態は各地区で判断して差し支えない。

【編成例】 ※地域の実情により5の倍数で編成する。

県北支部→荒尾・玉名・鹿本リーグ、菊阿支部→菊池・阿蘇Ⅰ・Ⅱリーグ、熊本市支部→熊本市Ⅰ・ⅡⅢ・Ⅳリーグ、県央支部→上益城リーグ、宇土・宇城・下益城リーグ、天草Ⅰ・Ⅱリーグ、県南支部→八代南北Ⅰ・Ⅱリーグ、水俣芦北リーグ、人吉球磨リーグ